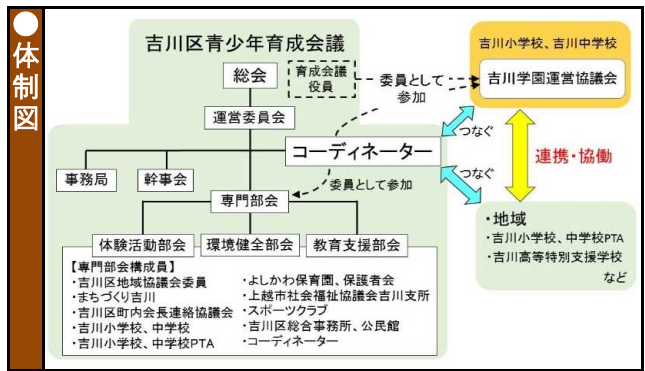


子どもも地域も笑顔 一宝磨かざれば輝りなし

新潟県上越市	●活動名 吉川区青少年育成会議	●関係する学校名 上越市立吉川中学校
--------	--------------------	-----------------------

協働活動開始年度	平成 21 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	5 学級	のべ児童・生徒数	109 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		地域人材育成			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		14人	
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数		延べ登録人数	企業・NPO等との連携	105人	無
参考URL	http://www.city.ioetsu.niigata.jp/soshiki/yoshikawa-ku/hanaipai.html						
●連絡先	上越市教育委員会 社会教育課		☎ 025-545-9245				



●活動の概要・経緯

吉川区青少年育成会議では、「地域の子どもは地域で育てる」という目的のもと、育成会議が中心となって学校支援活動を行っている。具体的には、育成会議の役員やコーディネーターが、学校と地域、関係団体をつなぎ、地域における子供の活動の場を広げているほか、子供たちと一緒に地域の諸課題を把握し、地域を巻き込んで解決に取り組んでいる。

また、育成会議の会長及びコーディネーターが学校運営協議会に参加し、学校の状況と育成会議の状況を両者が共有しており、育成会議の活動に対し、学校からの理解も得られている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①花いっぱい運動…中学生の提案により、地域を華やか(美しく・明るく・元気)にするために、育成会議が中心となって中学生や学校、PTA等と一緒に「花いっぱい運動」実行委員会を立ち上げ、学校及び地域ぐるみで取り組んでいる。
- ②自然体験学習(尾神キャンプ)…小学校で行われていた宿泊体験学習のキャンプがなくなったため、育成会議や子ども会、PTA、公民館、ボランティアが実行委員となり、小学生を対象に「アルミ缶炊飯」「飯ごう炊飯」「テント張り」等の学校活動ではできない体験を通して、子供たちの協調性等を育てている。
- ③ニュースポーツ大会(世代間交流)…青少年の健全育成及び世代間交流を目的としてスカットボール大会を、幼・小・中学生3人+高校生以上2人の5人チームを編成して実施している。

【実施に当たっての工夫】

①の「花いっぱい運動」は、平成28年2月に育成会議が中学生と一緒に活動するテーマを決める際に、吉川区の中学2年生を対象に地域の現状についてアンケート調査を実施したことから始まった。アンケートからは「自然の緑だけで、華がない」「活気がない」等の回答があったことから、中学生が自分たちができることは何かを考えたところ、地域を華やか(美しく、明るく、元気)にすることを目的とした、「花いっぱい運動」の実施を企画し、地域に協力を呼びかけた。育成会議は中学生の提案を実施に結びつけるために、平成29年5月に中学生、学校及びPTA等と一緒に「花いっぱい運動」実行委員会を立ち上げ、学校及び地域ぐるみで花の育成・管理及び花を使った「おもてなし」に取り組んでいる。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・育成会議の役員とコーディネーターは、各活動の実行委員会に所属しており、その活動の想いを学校と共有している。
- ・子供たちが地域の方と活動することにより、地域イベント「やったれ祭り」や「福祉まつり」への子どもの参画が定着するなど、子供たちの地域への関心が高まっている。
- ・「花いっぱい運動」実行委員会を組織したことにより、地域住民の方々がボランティアに参加し、中学生と地域住民との関わりが深くなった。
- ・中学生から地域住民に対して声掛けがあり、地域住民の方が喜んでいといった声を聞いている。

●その他

特徴的な活動の他に、子供と一緒に「あいさつ運動」を行ったり、広報を発行するなどの活動を通して、地域の方々に広く育成会議の活動を知ってもらいながら、継続的に活動を行っている。



中学生と一緒に地域の方々が花いっぱい運動に取り組んでいる。



「やったれ祭り」における中学生神輿の様子